

大型クラゲ情報

県内全域で1,000個以上の入網が続く

(1) 県内の出現状況 (水産振興課・各水産事務所・普及所調べ、10月28日現在)

- ・ 県内各海域の定置網等への入網状況は下表のとおり。
- ・ 太平洋は北部・南部ともに1,000個を超える入網が続いています。おいらせ町の小型定置網では、沖側に設置した網に陸側の網よりも多く入網する傾向にあります。
- ・ 日本海では、深浦町全域で1,000個を超える入網が続いており、10月24日から26日に深浦町から鱒ヶ沢の沿岸部で漁業者から「急増した」との情報が多数寄せられました。深浦町の轟木地区では底建網の操業が始まり、網口にテグス網を設置している他、入網数の多い沖側では網口を開放する等の対策を実施しています。また、車力沖で操業している底びき網で漁具の破損が発生しました。
- ・ 津軽海峡東部の佐井や陸奥湾湾口部の脇野沢で1,000個以上の入網があり、佐井では底建網で漁具の破損が発生しました。
- ・ 傘の大きさは県内全域で30cmから150cmと幅があります。

表 大型クラゲの出現状況 (定置網等の1ヶ統あたりの入網数)

日/海域	日本海	陸奥湾(湾口部)	海峡東部	太平洋北部	太平洋南部
10月22日	1,000以上		14~61	1,000以上	10~1,000以上
10月23日	300~1,000以上	10~500	29~133	1,000以上	10~1,000以上
10月24日	-	-	-	800	10~1,000以上
10月25日	500~1,000以上	600	14~300	-	-
10月26日	10~1,000以上	30~700	258~436	-	20~50
10月27日	50~1,000以上	150~1,000以上	100~1,000以上	-	1,000
10月28日	-	150	-	-	-

※その他

- ・ 沖合底びき網：10/23、25。十三、車力沖で80~300の入網。
- ・ 沿岸漁業者の目視情報 (日本海)：10/24、25、26、深浦町~鱒ヶ沢町の沿岸部での目視情報多数。漁業者、「急増した」との印象。
- ・ 沿岸漁業者の目視情報 (海峡東部)：10/25、大畑の沿岸部で多数の目視あり。



(2) 全国の出現状況 (漁業情報サービスセンター (JAFIC) 調べ、10月29日現在)

- ・ 日本海側では、若狭湾周辺や新潟県、秋田県、北海道の沿岸部で定置網等に1,000個以上の入網が続いており、西日本の沖合にも依然として分布が確認されております。
- ・ 太平洋側では、岩手県、茨城県、千葉県、静岡県で定置網等に1,000個以上の入網が続いています。

(3) 駆除の状況 (青森県、全漁連、県漁連、青森県青森県定置漁業協会、10月30日現在)

- ・ 県では県内全域の底建網漁業者に対し、11月1日以降も大型クラゲの洋上駆除を実施するよう改めて指導しており、11月中も引き続き県内各地で駆除が実施される予定です。
- ・ 本県日本海、太平洋の定置網や津軽海峡の底建網で引き続き駆除を実施しています。
- ・ 全漁連では、11月6日から9日までに、底びき網 (499t船) により本県日本海沖合 (N41° 00' E140° 00') 及び本県太平洋沖合 (N41° 00' E141° 30') で洋上駆除を実施する予定です。